

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第1回津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会
2. 開催日時	平成24年2月29日(水)14時00分から16時00分まで
3. 開催場所	スポーツ振興課 会議室
4. 出席した者の氏名	委員) 木下委員、後藤委員、相沢委員、小椋委員、野口副市長 事務局) スポーツ文化振興部部長 野呂 スポーツ文化振興部次長 新家 スポーツ振興課 課長 川北、主幹 川合 主査 谷口、主事 藤川 日建設計) 渡辺設計部長、小谷設計部長
5. 内容	1. 委員紹介 2. 副市長挨拶 3. 事務局説明 (1) 津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要綱について 4. 議事 (1) 委員長の選出について (2) 津市屋内総合スポーツ施設公募型プロポーザル技術提案書について (3) 津市屋内総合スポーツ施設基本設計について (4) 質疑応答・意見交換 5. その他
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	2名
8. 担当	津市スポーツ文化振興部スポーツ振興課企画管理担当 電話番号 059-229-3375 E-mail 229-3373@city.tsu.lg.jp

・ 議事の内容 下記のとおり

事務局（川合）	<p>本日は、津市屋内総合スポーツ施設検討委員会の開催をお願いさせていただきましたところ、御多忙中にもかかわらず、お越しいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私、事務局をお預かりいたしております、スポーツ振興課の川合でございます。議事に入るまでの間、進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本来ですと委嘱並びに任命式を執り行うところでございますが、お手元への事前配布をもちまして代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、御紹介を兼ねてお名前をお呼びさせていただきます。</p> <p>相沢 雅晴（あいざわ まさはる）様 小椋 久美子（おぐら くみこ）様 木下 誠一（きのした せいいち）様 後藤 洋子（ごとう ようこ）様 津市副市長 野口 正（のぐち ただし）様</p> <p>以上、5名の皆様でございます。次の皆様方には今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、委員会の開催に先立ちまして、当委員会の委員であります、野口副市長よりご挨拶申し上げます。</p>
野口委員	<p>本日はお忙しいところ御出席いただきまして、ありがとうございます。また、委員のご承認を御快諾いただきまして心から御礼申し上げます。</p> <p>津市におきましては、屋内総合スポーツ施設というものを建設予定いたしております、これは是非皆様方の御知恵を拝借させていただきます、市民にとって使い勝手が良く、また競技をする方々にとって、しっかりと気兼ねなく楽しんで、また思いっきりできるようなしっかりとしたスポーツ施設といったものをつくっていきたいと思っておりますので、是非皆様方の御知恵を拝借しながら、そういったものについて実現できるように頑張っていきたいと思っております。</p> <p>今後とも御尽力をよろしくお願いいたします、私の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局（川合）	<p>続きまして事務局をご紹介させていただきます。</p> <p>スポーツ文化振興部長 野呂でございます。</p>

事務局 (川北)

スポーツ文化振興部次長 新家でございます。
スポーツ振興課課長 川北でございます。
スポーツ振興課主査 谷口でございます。
スポーツ振興課主事 藤川でございます。
私、スポーツ振興課 川合でございます。

それでは、ただ今からお手元の事項書に従いまして、進めて参りたいと思いますが、お手元資料の御確認をさせていただきます。

先ほど冒頭で早々に訂正がございまして申し訳ありませんでした。

まず、事項書それから後ろに資料1、A4判でございます。同じくA4判で、資料2、3と一部資料3についてはA3判になっております。それからまた、後ろにA4判の資料4、資料1から資料4まででございます。御確認いただけますでしょうか。不備がございましたらお申し付け下さい。

それでは、はじめにこの度お集まりいただきました「津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会」の設立趣旨・目的等につきまして、スポーツ振興課長川北よりご説明させていただきます。

スポーツ振興課長の川北でございます。

事項書の3の(1)でございますけれども、資料1が二枚ありますが名前の次に資料1というのがございまして、津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要綱ということで御説明させていただきます。

趣旨、第1条本市の中心的なスポーツ施設となる津市屋内総合スポーツ施設の設計に関し、広く意見などを聞くため、津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会、以下委員会でございます。

第2条、委員会の所掌事項は、津市屋内総合スポーツ施設における使用や管理・運営を想定しつつ、当該施設の設計について検討し、市長に対し意見を述べることとする。

第3条、委員会は委員5人以内で構成する。委員は次に掲げるもののうちから市長が委嘱し、又は任命する。

1. 学識・経験がある者
2. 世界規模のスポーツ大会の出場経験のある者
3. 本市の職員
4. その他市長が必要と認める者

事務局（川合）

第4条、委員の任期は委嘱または任命の日から平成25年9月30日までとする。

第5条、

1. 委員会に委員長をおき、委員の互選により定める
2. 委員長は会務を総理する
3. 委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

第6条、委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

次のページをご覧ください。

委員会は委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

第7条、委員長は必要があると認めるときは、関係者等を会議に出席させ、意見または説明を求めることができる。

第8条、委員会の庶務は、スポーツ文化振興部スポーツ振興課において処理する。

第9条、この要綱に定めるものの他、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が会議によって定める。

1. この要綱は、平成24年1月25日から施行する。
2. この要綱の施行後、最初に開かれる会議は、第6条第1項に関わらず、市長がこれを召集する。
3. この要綱は25年9月30日限り、その効力を失う。

以上で終わります。

それでは、議事に入らせていただきます前に、会議の成立について御確認させていただきます。

本日は、委員5名中すべての委員に御出席いただいております。

「津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要綱」第6条2項の規定に基づき、委員の半数以上の方に御出席いただきましたので、会議が成立しましたことを、ご報告させていただきます。

また、本会議につきましては、津市情報公開条例第23条の規定に基づき、公開として市民一般の方の傍聴席を設けるとともに、会議の結果につきましては、住民への説明責任の一層の向上を図ることから、発言者の氏名を含め、公開することとなりますので、御了承の程よろしくお願いたします。また、議事録につきましては、

	<p>津市のホームページで公開させていただきます。</p> <p>それでは、事項書4の(1)「委員長の選出について」に入らせていただきたいと思います。</p> <p>「津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要綱」第5条の規定により、委員長は委員の互選によることとなっております。</p> <p>いかが取り計らせていただきましょうか。</p>
後藤委員	<p>第1回目ですので、事務局のほうで御提案があれば伺いたいと思います。</p>
事務局（川合）	<p>事務局一任ということで、御提案いただきましたが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	<p>（異議なしとの声あり）</p>
事務局(川合)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局といたしましては、建築計画及び設計の専門分野として、現在三重短期大学・生活学科で准教授される傍ら、日本建築学会にも所属され、津市屋内スポーツ施設基本計画策定委員会と同じく津市屋内スポーツ施設設計者選定委員会の委員長を務められた、木下誠一様に委員長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	<p>（異議なしとの声あり）</p>
事務局(川合)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、木下委員に委員長をお願いいたしたいと思います。</p> <p>木下委員、委員長の席に御移動お願いいたします。</p> <p>それでは、委員長に御挨拶を賜りたいと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
木下委員長	<p>委員長をさせて頂くこととなりました、三重短期大学の木下と申します。専門が、先ほども御紹介いただきましたように、建築計画でありまして、このプロジェクトでは基本計画の段階から参加させていただいております。</p> <p>今回は、設計検討委員会ということで、設計者も決まり、具体的な設計を詰めていく段階でありますので、個人的にはとても楽しみにしていると同時に、責任の重大さも感じております。</p>

事務局（川合）	<p>委員の皆様には是非とも貴重なご意見、それから幅広い御意見を伺いながら、質の高い施設をつくっていきたいと思っておりますので、どうぞ御協力の程よろしくお願ひいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では、以後の議事を進めさせていただくにあたりまして、「津市屋内総合スポーツ施設設計者設計検討委員会設置要綱」第6条において、委員長が議長を務めていただくということでありまして、木下委員長、議事の進行よろしくお願ひいたします。</p>
木下委員長	<p>れでは、事項書の方を見ていただきたいと思いますが、2番目のほうに移りますが、まず、議事に移る前に、初対面の方もいらっしゃると思いますので、簡単で結構ですので、自己紹介をそれぞれ皆様にお願ひできればと思います。それでは、相沢さんからよろしくお願ひいたします。</p>
相沢委員	<p>今、特定非営利活動法人M I P(ミップ)スポーツプロジェクトで、理事・事務局長をやらせていただいております。</p> <p>そのご縁もありまして、三重県とは、いなべ市から始まりまして、桑名ですとか色々なところで、私たちの本来の事業である、1人の子どもがいろんなスポーツを体験しようというようなイベントをやらせていただいております。</p> <p>ご縁がありまして津市とも、吉田沙保里さんのオリンピック2連覇記念の1つのイベントとしてやらせていただいております。</p> <p>この何年間会話していただく中で、市としても非常に良い取り組みもされています。</p> <p>ただ、1番最初に私が来た時に、大会会場になっていた体育館の老朽化が激しかった事を非常に心配しておりました。</p> <p>そんな時、この計画があるということをお聞きし、私たちとしても非常に楽しみにしております。この施設が見学する人にとっても、スポーツをする人にとっても、スポーツを支える人にとっても、非常に良い施設になっていただきたいと思っております。その意味で、魅力のある施設になるようお役に立てればなと思っております。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
木下委員長	<p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、小椋さんお願ひします。</p>

小椋委員	<p>小椋久美子です。M I Pの相沢さんからお話をいただいて、地元ということもあり、何か協力できることがあればという事で、お話をお受け致しました。</p> <p>バドミントンの世界大会に何度か行かせていただき、三重県でもそのような国際大会ができれば嬉しいなという気持ちもあります。そういった世界を周らせて頂いた経験を活かして、いろいろなお話が出来ればと思っております。</p> <p>私は、主にバドミントンについて話をさせていただくと思いますが、何か御協力できればと思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
木下委員長	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、後藤先生よろしく願いいたします。</p>
後藤委員	<p>三重大学教育学部保健体育講座におります、後藤洋子と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>私は、専門が設計とか施設ではないので、日常的に体育館を使う者という立場から、また、この計画基本構想の最初からずっと関わらせて頂いているという立場で、少し御協力が出来ればと思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
木下委員長	<p>よろしく願いいたします。</p>
野口委員	<p>副市長の野口でございます。よろしく願い致します。</p> <p>私は、行政の観点から見させていたくという点と、私自身若い頃ス剣道をやっておりましたので、今回の武道場はしっかりしたものをつくっていきたくとそういった思いをもっておりますので、是非、皆様の御知恵を拝借いたしながら、市民の方々が怪我なく、安心してプレイできるような、そしてまた国際大会に通用するようなそういったものをつくっていきたくと思っております。</p> <p>よろしく御指導お願い致します。</p>
木下委員長	<p>よろしく願い致します。</p> <p>幅広い方々に、御集まり頂いている事が、お分かり頂けたと思います。多面的にいろいろな御意見が得られると思いますので御協力よろしく願いいたします。</p>

<p>事務局（川合）</p>	<p>それでは、さっそくですが、議事のほうに移らせていただきます。議事の2番目、「津市屋内総合スポーツ総合型プロポーザル」技術提案書について事務局からご説明をお願いします。</p> <p>議事(2)の「津市屋内総合スポーツ公募型プロポーザル」技術提案書につきましては、計画施設の設計業務にかかる設計者を厳選いたしまして、昨年津市において、公開でプロポーザルを実施しましたところ、計8者の応募がございまして、最終的に本日御出席いただいております、日建設計株式会社を今回の設計者として決定させていただきました。</p> <p>そのプロポーザルによる選考段階でのプレゼンテーションを実施いたしましたので、その時の資料について只今から設計者であります、日建設計株式会社より御説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。</p>
<p>日建設計（渡辺）</p>	<p>この度、設計を担当することとなりました、日建設計でございます。私は、管理者を務めさせていただきます渡辺でございます。</p> <p>この度の建物は、津市様にとっては非常に大切な建物で、屋内スポーツのいろんな施設が総合的に組み込まれた、複合施設だと思っております。</p> <p>敷地をみましても、インターチェンジの最寄りのところにあり、田園風景の中で際立つような建物になるという事で、町のランドマークに繋がっていけると考えております。</p> <p>我々も数多くの体育館を経験しておりますが、今後は、できる限り市民、あるいは利用者の視点に立ち、施設の設計に取り組んでいきたいというように考えております。</p> <p>それでは、議題の内容につきましては、議題の(2)、(3)に引き続いて説明させていただきます。</p> <p>まずは昨年行われました、設計プロポーザルで弊社から提案させていただいた内容をご説明差し上げ、それから現在今年度末に向けて進めております基本設計の状況のご説明を引き続きしたいと思います。</p> <p>では、担当の意匠主任担当の小谷から説明いたします。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>日建設計の小谷でございます。</p> <p>よろしくお願いたします。</p> <p>お手元に、これからご説明いたします、パワーポイントの資料をお配りしておりますので、そちらの方もご覧になりながら、確認し</p>

ていきたいと思っております。

最初にお話がありましたように、プロポーザルということで、我々のほうで勝手な御提案をさせていただくという機会を頂き、その提案内容で弊社を選定いただいたということですので、その提案の内容を踏まえながら御説明をしていきたいと思っております。

今回私どもが、津市様の新しい屋内総合スポーツ施設を計画するに当たりまして、基本となるコンセプトでございます。それは「新しい活力の溢れる津のシンボルづくり」です。

今回検討していく上で、まず津市というのはどういう町かということをお考えしました。

元々、津市は、その名前の通り、海に面した港の町でした。それが平成の大合併で、かなり山手の方にずっと広がっていき、まさに海から山まで豊かな自然環境に恵まれた新しい「津」という町になりました。

そういった新しい津の町を象徴する建物にするということが、1番今回の建物に相応しいのではないだろうかということで、豊かな自然環境に恵まれた津を象徴する自然の光であったり、自然の通風であったり、水であったり、そういった自然の恵みを活かした市民交流の場をつくることを、基本コンセプトにしております。

今現在ございます、メッセウイングという展示場がございますが、それと連続する形で建物づくりをするということで、まずはこのメッセウイングのかまぼこ状の屋根に繋がっていくような形で、アーチ状の屋根を連ねた、津を象徴する景観をつくりたいと考えております。

津を象徴する景観というのは、伊勢湾に面して町があり、さらに山手の方にずっと山が連なっていくといった、土地性を持っております。これに対して、マリンプルーをイメージしたメッセウイングから、繋がっていきます。新しい総合体育館を山と見立て、メッセウイングと体育館全体で津の町を表現するという考え方でございます。

一方で、体育館を正面から見ますと背後に、長谷山や、経ヶ峰といった、津の市民の方々に親しまれるハイキングコースがあったりする山がございます。それらの山の形にも、なぞられるような形で、津の市民にも親しんでいただけるような、形ができるのではないかと考えております。

これが、全体の空から見たイメージ図でございます。今現在、こういった形でメッセウイングがありまして、それに繋がる形で4つの大きな屋根がございます。それぞれこれがメインアリーナ、サブ

アリーナ、それから武道場と弓道場、それからプールがございます。
一部、屋上庭園がある棟に、フィットネスのジム、事務所といった施設が入ります。

そして中央部分の、のこぎり屋根になっている屋根に太陽光発電パネルを備え、アスリートモールという共用のロビーのようなスペースを備えています。このアスリートモールを中心にして、それぞれの施設が連なっているといった施設構成でございます。

敷地は、非常に広く、この敷地の周辺までは、車でないとなかなか行けないと思われますので、できるだけ多くの利用者の方々に、利用していただく為にも、駐車場台数を確保するという事で、建物を敷地の中の端部に集約し、残りの大部分を駐車場にして整備することで、より市民の方々にとって利便性の高い施設にしたいと考えております。

また、周辺が田園地帯になっておりますので、駐車場の周辺に、ポケットパークを設けたり、できるだけ緑化をすることで、田園地帯の景観にも馴染むような形の施設構成にしたいと思っております。

今現在、メッセウイングの前の広場に車寄せがございます。その車寄せと同じ所から、体育館に入っていけるという形、それから先ほどのアスリートモールを中心に施設構成を図っていきたいと考えております。

駐車場は全体で1845台です。飛び地の部分に339台、それから、同じ敷地内に1394台ということで、駐車場もできる限り集約し、外周にはランニングコースを設けるように考えております。

真ん中に長く伸びている部分が、アスリートモールという部分でございます。このアスリートモールに面して右側がメインアリーナ、その奥にサブアリーナ、この奥に武道場、2階に弓道場、こちら側にはプールが壁越しに薄っすら見えています。アスリートモールまで来るとすべての施設が一目で見渡せるという施設でございます。

今回は、メインアリーナ、サブアリーナ、プールなど、非常にたくさん施設があります。そういったものを一般の方々にもできるだけ利用しやすいように、一目で見渡せる、アプローチのしやすい施設構成が大事であるという事で、こういった広々としたアスリートモールに対してすべて顔を出しているという構成になっております。

アスリートモールから、階段で2階に上がっていくと、2階は、

メインアリーナの観客席になっております。観客の方は、1階のアリーナとは分離して、2階にアプローチできるような動線も計画しております。

この、アスリートモールと言いますのは、先ほど申しあげました通り、屋根に太陽光発電を備えており、トップライトや、自然換気ができるような開口部で、できるだけ自然の光が降り注ぐ様な形、自然の風が通るような形ということで、自然エネルギーを利用した、新しい体育館を象徴するような、空間になるように考えております。

これが、1階の平面図でございます。今、申しあげましたアスリートモールというのが、ここにズバツと長く通っている部分でございます、これに対して、メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、それからプールはこちらから入って更衣室から通って行く、こちら側にトレーニングルーム、ここの部分に管理事務所がございます。

今現在、メッセウイングには3分割できる大きな展示場がございますが、この展示場とも一体的に使えるように、またスポーツ以外にも、展示会など、多様なイベントにも使えることを考え、メッセウイングのエントランスホールと総合体育館のアスリートモールが一体的に繋がるような施設構成になっております。

さらに、メッセウイングの一部については、床の改修をし、軽い運動ができるようにするとか、ある時はメッセウイングを取り込んでスポーツイベントできるような形にするとか、スポーツイベントがなくても一般利用、市民の方々が日常的に使われるように軽い運動であればできるような構成で考えております。

これが2階でございます。先ほどのアスリートモールは吹き抜けになっており、吹き抜けに面して大きな階段が2つあり、こちらから2階の客席に入ります。

サブアリーナも同様です。

弓道場は、武道場の2階にありまして、アスリートモールから上がってきた階段で、弓道場にアプローチするという形です。

それぞれ、メインアリーナ、サブアリーナ、プール部分につきましては、2層吹き抜けになっております。

それから、この部分は、屋上広場としてスポーツの合間のちょっとした休憩であったり、中学生や高校生の大会があった時などの、選手のウォーミングアップスペースや、休憩スペースや、お昼ご飯を食べるようなスペースといったように、多用に使えるスペースとして考えております。

先ほど、アスリートモールからそれぞれアプローチするといった

話をしましたが、メインアリーナは更衣室を通じてメインアリーナに入っていく、上下足を履き替えます。またサブアリーナも同様に、更衣室からサブアリーナに入っていくといった形であります。

後は、武道場、プールはそれぞれに更衣室があるといった構成です。それから、メインアリーナの両脇にそれぞれ器具庫、控え室、更衣室を配置するといった形になっております。

メインアリーナは、3分割して使えるような形になっておりますので、器具庫、更衣室もそれぞれ対応できるような構成で考えております。また、メインアリーナで、例えば大きな大会や、プロの大会が開催された時には、当然一般市民利用と観客動線を分ける必要がございます。選手専用の入り口を設けるようにして、選手ゾーンを完結し、表側とは完全に通路が切れ、動線をきちんと分離できるようにしたいと思っております。

一方、メインアリーナだけ大会を行い、プールは一般市民利用するといった場合など、いろいろな使い方に合わせた、動線の区切りができるように、考えていきたいと思っております。

メインアリーナの内部のイメージです。現在、最大観客席3000席を計画しており、大きな大会でセンターコートだけ使うような場合に、一部、壁の中に収納されているものが、可動で前に出てきて使えるといったシステムを考えております。

また、窓は横にできるだけ大きくとって、採光が取れるような形とし、天井にも、梁の中で光を反射させて、太陽光を取り込む、光ダクトといった照明方式の採用を考えております。

これは端部から太陽光を取り入れて、中を反射させて、中央で光りを照らすという形の新しい照明方式でございます。

通常、大会の場合ですと、試合時に直射日光が入ってくるとことは、嫌われるケースがあります。大体窓があっても締められてしまい、せっかくの昼間であるのに自然の採光が取れなくて、人工照明だけでスポーツをするというような環境になります。こういった光ダクトのように間接的に太陽光を取り込むような仕組みをとる事によって、電気代をできるだけ削減して、明るいスポーツ空間をつくり、快適なスポーツ環境をつくる、といったことを考えております。

先ほど、お話をしましたが、メインアリーナで大会あった場合に、アスリートモールは観客のスペース、選手のスペース、場合によってはサブアリーナをウォーミングアップスペースとして利用できるような、動線分離を計れるように考えております。

一方で、フィットネスや武道場の一般利用は、そのまま利用でき

るようなつくりで考えております。

メインアリーナの大きさでございますが、全体的に幅方向が45メートル、長手方向が69メートルになっております。バレーボールですと4面分、バスケットボールですと3面分、といった形でございます。また、これを一般的に市民の方々が利用される場合、空間を大きく3つに分けられるような構成も考えております。

続きまして、サブアリーナでございます。サブアリーナはメインアリーナより、ひとまわり小さい形で、幅方向が37メートル、長手方向が46メートルの大きさで、バレーボール、バスケットボールそれぞれ2面分の大きさでございます。

これらの体育館を、より多くの市民が利用ということを考えて、また、市民に親しまれやすいような体育館づくりという事を考えて、できれば、津市の地元産の木材利用を計り、壁の仕上げを木質にするとか、構造的なものを木造加工にするとか、地元の材料をどんどん使って、一般市民の方々に親しまれる構成の体育館にしたいと思っております。

それから、プールでございます。メインアリーナ、サブアリーナはかなり本格的なプロスタイルになっておりますが、プールに関しては、基本的に、一般市民の健康増進を主体に使われるように、25メートルプールを7コースで考えております。

一部、子ども用プールということで、子どもが使いやすいもの、それから、車椅子や高齢の方にも利用しやすいように入水用のスロープを設け、より市民利用に特化した形のプールにしたいと思っております。

プールもできる限り中庭側に設け、屋根をテント屋根にして自然の光を取り入れた形で、省エネルギー化を計るといった工夫を考えております。屋根に関しては、今後、いろいろな方式を検討中でございます。

これが、プールの平面図でございます。こちらがアスリートモールでございます、この向こう側にメインアリーナがございます。更衣室から入ってきて更衣室、プールに入っていただきます。まだ検討中ではございますが、プールは全体で25メートルを7コース、そのうち、端の3コースくらいを可動床にして、少し水深を浅くして、子どもや御年寄りの方々のウォーキングに対応できるようなコースも考えております。

この更衣室に関しては、マシンルームとフィットネススタジオの更衣室も兼ねて両方使えるようになっており、一般市民利用が1番多いゾーンをできるだけコンパクトに、使い易くするという考え方

でございます。

これが、フィットネスジムとプールの断面図でございます。プール
の水深は、1.35メートルで考えております。

今後、水泳関係の団体の方々と協議しながら、水深や、公認プール
についても検討していきたいと思っております。

それから、武道場でございます。武道場はやはり、剣道、柔道、
空手といった日本古来のスポーツをするスペースでございますので、
全体的に格子天井による端整なデザイン、木質系の素材を使った
デザインにしております。

両サイド部分にハイサイドライトといった、自然の光を取り入れ
るような形、それから足元にも窓を設けて、自然の換気、自然の採
光が取れる、自然エネルギー利用ができる空間づくりをしたいと思
っております。

この武道場につきましても、専用の更衣室がございます。
それぞれ見学者スペースを設け、見学の方々が来られるような大会
であっても対応できるような構成にしたいと思っております。

武道場の2階部分は、近似的の弓道場になっております。

この弓道場は、射場の真ん中に審判席があり、10人並んで同時
に競技が行える程の広さになっております。屋上部分でありますの
で、屋外になりますが、射場と的がある場所だけ屋根がかかっている
といった構成ですが、屋根の形状は、メインアリーナ等と同様にか
まぼこ型の屋根をつくりたいと思っております。弓を射る場所と
的がある場所以外は屋根が開いております。

最後に、今、建築計画のお話をしてまいりましたが、これだけ大
規模な体育館でございますので、それぞれ冷暖房のことも考えてお
かなければなりません。

昨今、地球環境に配慮するという事が、非常に重要となってきて
おります。CO2の発生を抑制するという事を考えた上で、でき
るだけ省エネルギーで地球環境に負荷を与えないような、冷暖房方
式を考えております。

日常的な市民利用の場合だと、あまり冷暖房といったとこまでい
かないかもしれませんが、本格的な大会の時は冷暖房が必要となり
ます。メインアリーナについては「居住域空調」、要するに、人々
がいるところを中心に冷暖房をするといった考え方でございます。
通常、冷暖房というのは天井部分に空調の吹き出しがあり、上から
空気が流れてくるような形になります。そうすると、必要以上に空
間全体を空調することになってしまいます。

そこで今回は、アリーナの競技に支障がでない端部の床や、観客

席の横の壁から吹き出すようなことで、競技をする人々がいる所だけを適切な温度に保つという方法を考えております。

また、観客席の床の外周部分に空調の吹き出しをつくることによって、観客の方々がいる場所だけを快適な環境にし、夏場の暑い時は、普通の環境よりは暑くなっているような場所があっても、競技をする人々、観客席の人々に支障がないような冷暖房方式を採用することによって、冷暖房にかけるエネルギーを削減しようという考え方でございます。

さらに、冷暖房に使う空気でございますが、冷暖房は通常、外部から空気を取り入れて、空調機で温度を下げたり、暖めたりして吹きだしますが、今回は、外部から空気を取り入れる際に、一旦体育館の基礎のピット部分に空気を通してから空調機に空気を取り入れるといった方式を採用します。

これは、水が、地下部分というのは年間を通じて、ほぼ温度が一定であることから、夏の暑い空気を一旦地下に通すことによって、外気より2、3℃下がります。そして、一旦下がった空気をさらに空調機に入れて冷房してあげることによって、そのまま外気を取り入れるよりも、冷房にかかるエネルギーが少なくて済むことになります。

暖房も同じく、冬場の地下に外気を通して暖めてから、空調機に入れて暖房するといった仕組みを取り入れて、全体の空調エネルギーを下げる方法を考えております。

プールについては同じく居住域ということを考慮し、プールサイドに床暖房を備え、それから太陽熱集熱機を用いた暖房を行ったり、プールの温水をつくる為の、自然エネルギー利用を考えております。夏場もやはり同じような冷房方法を考えております。

熱気溜りは上の方だけにできるので、居住域部分は快適な環境が保たれるような構成にしたいと考えております。

冷暖房の話を中心にさせていただきましたが、基本的にはできる限り、自然の採光、自然の換気といったものを利用することによって、一般的な市民利用の際には、冷暖房を使わなくても、できるだけ快適なスポーツ環境がつけられるような構成にしたいといったように考えております。

簡単ではございますけれども、私たちどもでご提案させていただいたプロポーザルの基本的なコンセプトの話を行いました。

それから、引き続きまして、プロポーザル以降、事務局さんとずっと打ち合わせをしてきて、説明させていただいてきた、今の時点での設計計画内容をご説明させていただきました。

	<p>最初にもお見せしました、全体の外観イメージでございますが、それぞれの施設の屋根が正面側から顔を出すことによって、それぞれの施設が何処にあるのかわかり易く、市民に親しんでいただけるような外観にしていきたいと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございました。質疑は、次の議事3の御説明が終わってからまとめて行いたいと思いますので、その時にお願い致します。では、続きまして議事3の基本設計についてです。</p>
日建設計（小谷）	<p>これも、一緒に御説明させていただきました。</p> <p>補足させていただきます。今、基本設計の御説明をさせていただきましたが、その詳細な図面につきましては御手元の資料3ということで図面を付けさせていただきましたので、こちらの方もご覧になって頂きながら御検討いただければと思っております。</p>
木下委員長	<p>では、初回でありますので、いろいろな情報、ご説明がりましたが、最初の理解を深めていく為に、それぞれお気づきの点や御不明な点などございましたら御質問頂ければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
後藤委員	<p>2つお伺いしたいと思います。</p> <p>1つはアスリートモールから各施設に簡単にアクセスできるということは、とても素晴らしい事だと思っております。看板とかそういったもので誘導しても、利用者は見ませんので、一度にアクセスできるという点は、素晴らしいと思います。</p> <p>もう1つは、いつも気になる点で、何処で下足を屋内シューズに替えるかといった問題があり、境目がぐちゃぐちゃになってアリーナが傷だらけになってしまうということがよくございますけれども、その点については、どのようなプランをお考えでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>実は、まだ検討中の部分でありまして、他の類似施設を見させていただき、いろんな方式がある中で、今回考えておりますのは、できるだけそれぞれの施設ごとに、上下足を履き替えていただき、基本的にアスリートモールまでは下足で、更衣室に入るところで靴を脱いで中に入ってもらい、この部分に下足置き場を設けるという形になります。</p> <p>メインアリーナ、サブアリーナ、武道場につきましても、それぞ</p>

	<p>れ踏込がございますので、この踏込で上下足を履き替えていただいてから中に入ってください。またプールやトレーニングルームについても、更衣室の手前で上下足を履き替えることで、それぞれの施設に分けてつくるといった形でございます。</p> <p>ただ、下足でメインアリーナまで入っていただくようなイベントもあります。例えば観客の方々がもし正面の出入り口から出入りするような時は、メインアリーナから入っていただいて、シートを敷いた上を、下足のまま歩いていただく、もしくは上足になって競技をしないという方々には、下足場を設けてそこで上履きに履き替えて中に入っていただくといった、2通りの考え方がございます。</p> <p>選手の履き替えは、選手入り口で上足に履き替え、それぞれ更衣室に入っていただきます。</p>
後藤委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>下足置き場があると、履き替えるということがわかりますが、できれば思わずそこで靴を脱ぎたくなるような、ここは下足では上がってはいけないのではないだろうかと思わせるようなそういった工夫があると非常に判りやすいと思います。例えば、カーペットであるとか、色が変わっていると、知識のない人も思わず靴を脱いでしまうという形が望ましいように思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。</p> <p>段差をつければ判りやすいのですが、やはりユニバーサルデザインの観点から段差をつけるということは宜しくないと思いますので、先ほどおっしゃっていただいたように、床をカーペットといったようなもので切り替えができるようにしたいと思います。</p>
木下委員長	<p>サブアリーナと武道場との間に通路があり、その右の方に出入り口があつて、そこに下足箱とありますが、そこで履き替えは行いますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。この出入り口がどれだけ使用頻度があるかというところ、非常に使用頻度が稀だとは思われるのですが、ここで靴を脱いで入っていくということも、ここで限定して使う場合の出入り口になると思います。</p>
木下委員長	<p>例えばアスリートモールの左の方から先ほどの細い通路を抜けて出て行くといったことは想定されているのでしょうか。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>あまりそのケースは想定しておりません。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>では、左側のメインの出入り口からのアプローチしか考えてないということでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>基本はメインのアプローチを出入口として考えています。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>例えばイベントの時に、人が集中してしまったときや、あるいはフィットネスに行く時に、メインを通らずに正面の駐車場から入るといった時のアクセス、アプローチといった事も考えなくてはならないですね。</p> <p>それは、機能的にはどうでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>出入り口は、何かしら一般の方々が入ってくる入り口がございますが、その運用の仕方は今後もう少し検討はさせていただきたいと思っております。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>場合によっては、プールと武道場の間の空いているスペース、そこから入るようにするだとか、一箇所だけのアプローチは少しきついなという感じがします。</p>
<p>日建設計（渡辺）</p>	<p>建物の出入りの管理といった意味では、あまりあちこちに出入り口があると、入退館の目が行き届かない懸念もありますので、一元化したい訳であります。</p> <p>駐車場はたくさんありますが、重心はどちらかというと左側にありますので、車利用者からすると、現在の中央の入り口とメッセウイングのとの間辺りが1番アクセスしやすく、そこから入ると施設が一望できますという形でございます。</p> <p>あと、北側にも駐車場が設けられますので、メッセとメインアリーナとの間にサブエントランスを設けまして、そこから直接アスリートモールに入っていただくのがサブエントランスになるかなと思います。</p> <p>それからおっしゃっていただいたように、正面駐車場がありますので、日常利用という意味では、トレーニング・フィットネスの利用頻度が高いと思いますので、その最寄りの所に、もう1つ出入り口をつくるという事も考えられると思います。</p>

木下委員長	いかがでしょうか。
相沢委員	<p>私も非常に良い体育館だと思いましたが、先ほどプールのお話をされていましたが、これから良いものをつくるにあたって利用者ですとか、運営サイドの人たちの意見を聞いてそれが反映されるのでしょうか、それとも基本的に今のようなお話が中心なのか、どちらでしょうか。</p> <p>私としては、今体育館を運営している成功事例がある所ですとか、そういったところの方々たちを参考にさせていただいて、お話を聞いて、より良いものをつくったほうが良いのではないだろうかと思えます。</p> <p>例えば先ほど、プールの床を上げて高齢者の方の歩行をしやすくするとおっしゃいましたが高齢者の為の歩行は、本来は地に着かないほうが良く、水深を深くすることで成功されている施設が多くあります。</p> <p>そういったところの方々の御意見を聞いて、利用者にとって適切な事を求めた方が良いのではないかと思います。</p> <p>すべて決まっているものなのか、それとも少し改善されるものなのかによっては、私たちが意見を言えるのかといったことができると思いますので、その辺をお聞かせ願いたいと思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>基本的には今日は、検討委員会も1回目ですし、これから設計を詰めていくものですありますので、皆様から御意見を反映しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>まずは、検討委員会にかける前段の検討だということで、本日このように検討委員会の方々から御意見を聞くと同時に、津市内の各スポーツ団体の皆様に御説明会を開かせていただきまして、且つアンケートを取らせて頂いて、御要望を吸い上げるという形をとっております。</p> <p>その御意見を頂いて、その内容についてまだ検討案を変えていきたいと思っております。</p>
野口委員	<p>少し補足させていただきますが、公募のプレゼンテーションで決めておりますので、基本的なコンセプトを変えることは制度上できないと思っておりますが、ただ運営上こうした方が良いですとか、こうしないとうまく回らないのではないかとといった御意見は、逆に取り入れるものは取り入れて、基本的にはこの委員会で我々が意見を聞くという場面ですので、そういった前提で御協力いただければ</p>

<p>木下委員長</p>	<p>と思います。</p> <p>例えばプールの場合だと、どういった団体さんに聞かれたのか、具体的なところをお聞かせ下さい。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>プールは1番悩ましく、いろいろ検討をしておりますが、一応、体育協会は、水泳連盟で専門的に競泳、水泳をしておりますので、やはりここで考えますのは一般市民向けに考える必要があるのかなと考えております。</p> <p>今、津市の市民プール屋内プールの利用者の分析を行っております、その分析によると大体7割ぐらいが泳ぐ方、3割ぐらいが歩かれる方、極少数の小さい子どもが利用するといった状況ですので、そういった利用割合を想定して、考えていきたいと思っております。</p> <p>しかし、そうした時に水深は果たしてどれぐらいに設定したら良いのかとか、歩くにはどれ程の水深が必要なのか、そういったことを考えて、尚且つコスト的にもなるべく負担にならないようにといった事を考えると、プールの材質はどうするかとか、いろいろありますので、その辺はいろいろ意見を聞きながら、進めていきたいと思っております。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>いかがでしょうか。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>選手専用の出入り口や、選手が過ごせる控え室がございますが、トイレに行く際は、別の場所までいかななくてはならないのでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>いえ。ロッカールームの中に、それぞれ選手用のトイレとシャワーを1つずつ備えるつもりではございます。これは、もう少し大きな大会で使うということになります。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>確認ですが、選手が過ごされる場所ということで控え室が中心となりますが、例えば、ミーティングとか、ウォーミングアップとか、あるいはいろんな交流をすとかといった場所は、具体的にどういった場所を想定されているのかということ。</p> <p>また、選手の活動の一連の流れ、それぞれの場所でどのように過</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>ごすのかを教えてください、イメージが付きやすいです。</p> <p>選手出入り口がございまして、それぞれ4つ部屋がございまして、その部屋を選手控え室、更衣室、といった書き方をしておりますが、基本的には同じような部屋が、4つ程並んでおり、その中にロッカールームとミーティングができるような会議室エリアのようなもの、それから先ほども申し上げた通り、シャワー室等もそれぞれの部屋に備えられております。</p> <p>試合の多くは、2チームで行われますが、バレーボールのVリーグですと4チームが同時に集まってくるというケースもございまして、ですから、最大4チームがそれぞれ部屋を利用できるような形で備えるつもりでございまして。</p> <p>ウォーミングアップするスペースは、例えばサブアリーナを使っていたら、うまく動線をきることによって、完全に選手エリアといった形の構成にすることができます。</p> <p>一方、ファンの方々との交流といったこともありますので、そういった時には、やはりアスリートモールに出させていただいて、アスリートモールのこういったスペースとして利用するという形かなと思います。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>広さの感覚が分からないです。例えば選手の更衣室が大体どれくらいの広さになっているのか等がわかりません。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>これは、あくまでも全体の構成となりますので、広さというのは数を表現していただくとかですかね。そうしていただくと。</p>
<p>日建設計（渡辺）</p>	<p>今日は、初回ということで全体の大きな構成レイアウトを示している段階でありまして、家具、しつらえ等のスケール感につきましては現在進めかねておりますので、またこのような場面でご説明できると思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>大体、この1つの部屋の大きさがこの部屋より少し狭いくらいであります。そういった部屋が4つ程あります。次の段階では、おっしゃっていただいたように家具を入れたり、トイレやシャワーを入れたり、もう少し拡大した図をつくって参りますので、まずは大きな構成としてこういったような形が宜しいかと考えております。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>アスリートモールの幅とか長さはどれくらいですか。</p>

<p>日建設計（小谷）</p> <p>木下委員長</p>	<p>大体、アスリートモールの長さは90メートルくらいで、幅が10メートルくらいです。結構広い空間ではあります。</p> <p>それが、どういった形で機能するかということと、やはりこの施設の場合アスリートモールが中心になるようなものであると思いますし、特徴であると思います。</p> <p>そのアスリートモールをどう活かすかによって、施設の質が変わってくると思います。</p> <p>そして、その時にアスリートモールを例えばイベントの時にどう使ったり、メインとサブが大きなイベントをする時に、例えば入場待ちの行列がどういった形で並ぶか、あるいはイベントのときではなく、日常で一般の方がふらっと訪れたときに、どういったところで休まれるだとか、時間を過ごされるかとか、あるいはいろんな展示物等の情報を入手するパンフレットでありますとか、そういった場所は何処にあるのか。</p> <p>あるいは、アスリートモールと呼ばれる場所が、ショッピングモールのように賑わいのあり、いろいろな活動が中で行われているのが見られるように、そういった風になればいいなと思っておりますので、賑わいをどういった形で見せるのか、そしてそれが日常の時と非日常の時に十分機能するのかということ。</p> <p>その辺を1シミュレーションなりして見て、そしてこれが機能する大きさであるといった説明をいただいた方が、ただ見ているだけでは無駄に広いと誤解されてしまうようなことがあると思いますので、そういったことを詰めていっていただきたいです。</p>
<p>日建設計（渡辺）</p> <p>相沢委員</p>	<p>いろんなシーンでのアスリートモールの使い方などももう少しリアリティーをもって我々も検討しなければならないし、検証もしていかななくてはならないと思います。先ほどおっしゃったように、その在りよう、人の行動、動きに伴ってどう造り込んでいくか、といったことを順に追って詰めていきたいと思います。</p> <p>ここが、目玉の骨組みの部分となりますので、1つのインフォメーションセンターとして入ってすぐに行きたい場所が分かるといったことが元々のねらいでございます。それだけではなく、市民利用の場合における憩いの場という考えも当然考えられますので、多目的にイベントが行われるように。</p> <p>例えばどのようなことを考えていますか。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>見ていると、ただ広場があって、アスリートモールといわれてもという感じがします。</p> <p>例えば、メインアリーナで本格的な大会をする時は、先ほどおっしゃったように、観客のたまりの場になると思いますし、高校生や中学生の大会の時には、選手や観客も入りまじってこの辺まで来ますから、例えばこの一角で選手のミーティングをするようなスペースが出来たりだとか、一部ウォーミングアップするようなスペースができるとか、そういった大会でなくても、普通の市民利用の時にはやはり市民の方々がここで、まとまってミーティングするような場所であったり、この一角に情報コーナーみたいなものを設けて、この体育館の活動だけではなく、津市全般のいろいろな情報を発信できるようなスペースを設け、そういった所からここに運動しに来た人たちが情報を得ていけるように、そういった使い方を考えております。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>例えば今、バドミントンなどの大会で高校生たちがきた時に、アップとかにも使われるのですか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そういった使い方も出来ます。その時々の設定の仕方ですが、サブアリーナを含めて、その大会の関係者が使われるということで、サブアリーナをウォーミングアップスペースとして使われることもできます。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>先ほど言っていたように、私もどちらかという、アスリートモールはショッピングモールというイメージかなと思いました。多少そういった施設があって、例えば軽飲食ができたり、市民の方たちが100円マッサージのようなことができるようなスペースがあったり、といったのがアスリートモールかなと思ったのですが、今のお話だと基本的には広場で使い方としてはアップもできるし、何でもできるから自由に使ってくれというような感覚なのでしょうか。</p> <p>例えば、今在る施設でも、余剰スペースの問題が結構挙げられていて、国立代々木体育館ですとか、最近、フットサル場をつくりましたよね。つくった後で、あれだけ広い場所があっても本当に良いのでしょうか。使い方はお任せしますという形だと、スペースが無駄になってしまうのではないかなといったイメージを受けました。</p>

<p>日建設計（小谷）</p> <p>相沢委員</p>	<p>モールといったネーミングは、我々が勝手に考えたものですけれども、通常のショッピングモールだと広場に面してそれぞれのお店が顔を出しているように、それぞれの運動施設が顔を出しているといった形でございます。</p> <p>この施設はそういった飲食店はないのでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>現在メッセウイングに、喫茶・レストランコーナーと呼ばれている施設がございますが、それを改修してここに新しく喫茶・レストランコーナーといったものをつくるだとか、それから一部プロショップ的なショップをこのアスリートモールに面してつくろうかなといった計画がございます。</p> <p>今後、位置につきましては、検討していきたいと思います。なので、全く何もないわけではございません。</p> <p>先ほど言ったように、ここには情報交換できる場所があり、単純にスポーツだけではない交流が図れるようなものも入り込んでいたらなと考えております。</p>
<p>日建設計（渡辺）</p>	<p>現状でのメッセのロビーと連続するような形となりますので、おそらく全体で言うと120から130メートル程の規模となりますけれども、そこにそれぞれの施設が顔を出しているようになると思います。</p> <p>それぞれの施設のアクティビティが顔出しをしていく形にしたいといったねらいがあります。そこには、いろいろな仕掛けをしていかなければ、思うように使っていただけないと思いますので、プロショップが良いのか、ラウンジ的なものが良いのか、先ほどおっしゃっていたようにマッサージコーナーがあるかどうかかもしれませんね。もっといろんな場面をイメージした検討はさらに必要かと思っております。</p>
<p>野口委員</p>	<p>2点ほど宜しいでしょうか。</p> <p>まず、1点目ですけれども、武道場ですが、プロポーザルで見た時のイメージと今回と比べますと、今回ど真ん中に柱が立っています。試合をやるだけであればいいのですが、練習に使いたいですとか、武道場も両方使いたいといった時、特に剣道の練習ですと、真ん中に柱があると練習になりませんよね。これは、どういった意味で入っているのでしょうか。</p> <p>私は、柱を入れるべきではないと思いますし、おそらく意見を聞</p>

	<p>くと試合では使えるけど、練習では使いものにはならないと言われて います、ということが一点。</p> <p>それと、フィットネスやトレーニングジムですとか、それぞれが 入場料金、使用料金をとった場合に、どういった動線で人が流れて、 また管理スペースをどう置くのかどうかということを教えていた だきたいと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>はい。</p> <p>武道場に関しましては、おっしゃっていた通り元々は柱がござい ませんでした。</p> <p>今現在検討中のございまして、武道場の空間が非常に広いもので すから、真ん中に柱1本があるかないかだけで、かなり構造的な難 しさが変わってくると同時に、予算的にも変わってくるという面も あって、そういった可能性としてまず、いろんな関係団体の方々の 意見を聞くと同時に検討を進めておりますが、そんなものがあつて は困るという事となれば、見直しを考えなくてはいけないと思いま す。</p>
<p>野口委員</p>	<p>剣道をやっていた人間としたら、道場の真ん中に柱があるとい うのは危なくてあり得ないです。端から端まで打ち込んでいって練習 するわけです。どんどん人が下がりながら、引きながら練習いたし ますので、これは、あり得ない選択肢だと思います。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>柱をなくしますと、梁を分厚い梁にしなくてははいけませんので、 当然建設工事費が上がることと、2階の床にも影響がでてきます。</p> <p>練習で使わせるようにするのか、練習では使わせないといった形 として判断するのか、練習より安全性といった問題になりますから、 どちらを選ぶかといった形になりますので、それは、武道をや ってきている方々に意見をよく聞いた上で判断していただきたい と思います。</p>
<p>野口委員</p>	<p>少なくとも体育館全体を使って剣道の練習をしてきた人間から すると、とても真ん中に柱があること事態が、信じられない設計だ など。</p>
<p>日建設計（渡辺）</p>	<p>武道場は柔道と剣道の両方備えられると思います。いろんな施設 を見ますと、真ん中で間仕切りを立てて片側は柔道、片側は剣道で、 日常にはそういった形に使われがちなんですよね。間仕切りが入っ</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>たままでしたら、柱は関係ないのではないのでしょうか。仕切りの壁の中に入ってしまうので。</p> <p>それともう1点、使い方、料金の取り方ですが、入り口のすぐ脇に管理事務所を置いて全体を見ることができるよう計画しております。例えば管理事務所の脇に自動券売機を置いてそこで料金を払って、チケットを買って、それぞれの利用したい施設まで行っていただく形かなと思います。</p> <p>ここはいろんな管理の中心になります。</p>
<p>野口委員</p>	<p>例えば、進んでいる市ですと、トレーニングの記録を、誰が何時にきて、どういったトレーニングをしたかといった記録がとれて、それをまた管理して提供できる場所というのは結構あります。そういったものは、どこにできるのでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>トレーニングジムの中に、別に設けたいとは思っております。この部分が要するにプールとトレーニングルーム全体の指導員が居るようなスペースになります。</p>
<p>野口委員</p>	<p>指導員の控え室とデータを市民の方々とやり取りする場所とは違いますよね。それを、どこに設けるのかということです。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>この中の機能につきましても、もう少し検討させていただきます。いろいろ見せていただいたところ、かなり本格的な機械を導入して、データをとって、蓄積してやるようなものを備えている所もありますし、それをどこまでやるかになると思います。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>A3の資料3に書かれている図を見て、全体のレイアウトだと思えますが、駐輪場がメッセウイングの左手の方にありますが、おそらく自転車で来る人っていうのは、できるだけ入り口のそばに停めたいというように思うので、ここに駐輪場に自転車を置いて100メートル近く歩いて管理事務所のほうに行ってしまうというのは、なかなか考えにくいところかなと思います。</p> <p>おそらく、この駐輪場には停めずに、目の前の駐車場のどこかにおいてそのまま入り口の方に行ってしまうと思います。</p> <p>それでしたら、むしろ入り口の近くに駐輪場を設置されるというのはいかがでしょうか。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そうですね。これは、現在のメッセウイングの駐輪場ですので、施設から1番近い所のすぐ横ぐらいいに出入り口を設ける必要があると思います。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>是非お願いします。</p> <p>それと、もう1つプールについてですが、可動床のご検討をされているようですけれども、これは、すごく予算がかさむものですよ。本当に必要なのだろうかということが疑問でして、費用がかさむ上に、おそらくそう簡単には上げたり、下げたりできないのではないかなということを見ると、可動床を導入した、実績のある所で、それがどのような使われ方をして、どんな効果があったのかといったことをリサーチしていただいて、導入するかどうかを検討していただきたいと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そうですね。</p> <p>それが、実はプールを検討していくうえで、重要な課題になっておりまして、少しお時間を掛けさせていただきまして、検討していきたいと考えております。</p> <p>プールの水深設定というのが1番難しいところで、しっかり水泳がしたい方は水深が深いほうが良くて泳ぎやすいですし、公認のプールとする場合は、それなりの水深がなくてはならないし、子どもさんが利用する場合には深すぎるといった矛盾があるものですから、いろいろな方の御意見を聞きながら、考えていきたいと思っております。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>西側の駐車場からのアクセスの仕方と、東側正面の駐車場からのアクセスについて教えていただきたいと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>人は一部、車路を歩いてきていただかなければならないことになっております。</p> <p>別に、出入り口を設けるかどうかというのは、検討したいと思っております。</p> <p>床の道路レベルと地盤のレベルとの段差があったということもあり、それを干渉しないといったことを考えなければいけません。それともう1つ、駐車場の管理をするうえで、ゲートを設けるかといったことも検討の課題となっております。今現在では、ゲートを設けないといった方向で進めております。</p> <p>もしゲートを設けて、管理をするのであれば、できるだけ出入り</p>

	<p>口の数を絞りたいということもあって、もともと出口をつけようと思っ ていましたが、つけてないといった状況であります。</p>
木下委員長	<p>回転スペースなんかはどうでしょう。</p>
日建設計（小谷）	<p>それは、少なくともございます。</p>
相沢委員	<p>メインアリーナは、外光は入ってくるのでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>日常使いの時は、外光が入ってくるように考えたいんですけども、 外光をどうしてもシャットアウトしない競技といったものもござ いますので、そういった時は全部シャットアウトできるような仕 組みをつくります。</p>
相沢委員	<p>どういった仕組みですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>完全に窓に暗幕のブラインドをおろすことになります。</p>
小椋委員	<p>空調のことで聞きたいのですが、自然換気ということは一定の空 調ではないということですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。空調の話ですが、自然換気がそのまま風が流れてい くということですので、例えば、夏の暑い時によくいろんな類似施 設を視察させていただきますと、体育館は窓が開かないので、夏場 も暑くて大変といったことを聞きますので、少なくともこういった 夏場の熱だまり時には窓を開けて空気を流せるような使い方をし たいと思います。</p> <p>ただこれも、本格的な競技のときに、風が安定しない状況では使 えないことが当然あると思いますので、そういったときには完全に シャットアウトして、自然換気を使わずに冷房をかけて、それも競 技前に冷房で冷やしておいて、競技の時には止めるといったよう な利用方法になります。</p>
小椋委員	<p>しかし、バドミントンに関しては、一定の間隔の風であれば読め るのですが、自然の風だとどちらに、こういったように動けばいい のか分かりませんので、たぶん自然換気はやめた方が良くと思い ます。</p> <p>あと、もう1つ思ったのが、バドミントンではなくて、卓球だっ</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>たら壁から出てくる風にすごく影響されてしまうと思います。</p> <p>これは、本格的な競技の時はもちろん止めますが、日常的に一般市民の方が使われるような時は、ある程度使えれば良いかなと思います。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>止めた時は、空調はきくのですか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>止めた時は、その前に冷やしていただしておくか、試合の合間や、試合時間の何時間前に冷やしておくとか、暖めておくとかして、その間は気流が起こらないようにし、また終わった後に空調を入れるといった使い方でございます。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>たぶん無理だと思います。逆にバドミントンだと朝から夜まで試合なので、一回とまるという事が全くないですね。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そういった時は、非常に緩い風速で、吹きだします。床吹き出し口も風速をコントロールできますので、手を近づけると風がきてるとわかる程度まで、風速を下げることもできますので、上から吹くとかかなり強い風でないと届かないのですが、じわっと出てくるような空気で冷暖房できますので、できるだけそういった競技に影響を与えないような空調になっております。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>そこは結構大切ですから、やはりリサーチをしていただいた方がよろしいかと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>私どものほうでも、いろいろな体育館をつくらせていただいておりますので、その事例なんかも調べながら、また他のお話も伺ったりしまして、十分な設計を行っていきたいと思っております。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>実際、トイレの数はどれ程あるのでしょうか。</p> <p>安濃の体育館がありますよね。この体育館はイベントや試合の時、すごくトイレに並びます。マラソン大会の時もすごく並びますよね。普段使いなら良いかもしれませんが、大会の時はすごく不便を感じたり皆さんされると思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>今回、それぞれ男女のトイレがございしますが、その男女トイレの仕切りを動かせるようなシステムをとり入れる事を考えておりま</p>

	<p>す。</p> <p>男性の多いイベントであったり、女性が多いイベントであったり、特にトイレというと女性のトイレが多いのですが、そういった時にイベントの状況に合わせて多種多様に男女のトイレの比率を変えられるような仕組みにしようかなと考えております。</p> <p>できるだけトイレが足りないといった状況を抑えることができればと考えております。</p>
相沢委員	<p>基本的にはそのトイレを使うのでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>一般の方が使われるのはこのトイレです。選手の方はそれぞれ中にあります。</p>
日建設計（渡辺）	<p>観客席用のトイレは上にありますよね。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。そうですね。</p> <p>2階にもトイレが観客席用にございます。</p>
日建設計（渡辺）	<p>観客席の固定席は、2，000席ございますので、それに見合うようなサービスレベルにはしようと思ひます。</p>
相沢委員	<p>その個数は大体どれくらいですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>ラグビーのハーフタイムなどはすごく並びますよね。</p>
日建設計（渡辺）	<p>ハーフタイムは集中しますからね。</p>
日建設計（小谷）	<p>1階のトイレで通常の半々で割りますと、男性の小便器が36個、大便器が25個、女性の場合大便器が36個ですけれども、それを可動させるような形であります。</p> <p>なかなか可動と聞いても分かりにくいと思ひますけれども、大便器のブースが並んでいるところに、男女の共用便器があります。男性側と女性側の隔ての位置を、間仕切壁を間に仕込むことによって、もし、男性が多い時には、間仕切壁を動かすことで、少し調整が利くようにしたいと思ひております。</p>
後藤委員	<p>アリーナの器具庫ですが、見取り図を見た限りでは、器具庫のスペースが、それ程多くないなといった印象がございますが、盛り込</p>

	<p>む物とか、その辺のバランスを考えて大体どれくらい収まるかと見通しているのでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>実は、まだ収まりのスペースは検討中でございます。今現在このアリーナに必要な器具がどれ程のものであるのか、拾い出しをしようとしているところで、拾い出した上でそれぞれの器具が全部収まるようなスペースで検討したいと思っております。今現在、検討中であります。</p>
後藤委員	<p>もっと広がる可能性もあるということでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。そうですね。</p>
木下委員長	<p>結構詰まっているよう気がしますが、どういった方法で広げるのでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>少し悩ましいところでございます。</p>
後藤委員	<p>分割使用した時に、それぞれのスペースに器具庫が対応するというようなことでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>それぞれ小さな器具庫を設けるような形にして、大きなものはこちらに入っているということで、ちょっと引き出したいもの等は、それぞれの向こうまで行かなくても使える形にしたいと思っております。</p>
野口委員	<p>バスケットのゴールは出しておいて、その他のものは器具庫に入れておくということですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>バスケットのゴールは、器具庫に入れていただきます。 今回、少なくともメインアリーナのバスケットゴールは、可動のものと考えておりますので、日常的には器具庫の中に収納していただくといった形でございます。</p>
木下委員長	<p>2階のメインアリーナのランニングコースに沿って柱がたくさん並んでいたかと思いますが、この柱は必要なのでしょうか。 ランニングする際に、万が一柱にぶつかるといった危険性はないのでしょうか。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>今、角柱ですけれども、この柱を取れないとするならば、丸柱にするといった安全性に関してはお考えでしょうか。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>もちろん、安全性を考慮しております。この柱の間で十分な広さがとれるコースをつくろうかなと思っております。当然、周りにクッションを巻くとか、ぶつかっても怪我しないような形のものにはしたいと考えております。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>是非、安全性に配慮していただきたいと思います。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>ここに限らず全般的に安全性といったものは、配慮したいと思えます。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>ユニバーサルデザインといった観点から通路の幅員が果たして車椅子がすれ違えられる幅になっているのかということ、段差、階段の寸法、例えばメインのエントランスにすぐ入って階段とスロープがありますが、果たしてこの位置でいいのかといったこと、例えばここにイベントの際に人がどっと押し寄せた時に、人と車椅子の方と階段とを分けるようなことが必要になってくると思います。</p> <p>今、管理事務所の少し奥に階段が隠れているといった形になると思いますが、入ってすぐに階段があると警戒してしまうといったように、1メートルの段差を処理する場所はそこがいいのか、そこでないといけないのであれば、もっと階段を緩くするとかいったような工夫が必要となってきますが、その辺はどうでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>位置に関しては、いろいろ考えまして、ここが1番収まりが良いかなと思っております。もう少し奥に配置することはできると思えます。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>あるいは外側で予め段差を解消しておいて、出入り口を入ったら内側は平らにするとかした方が良いのではないのでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>メッセの床は下がっています。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>メッセ側の床で上げるというのはどうでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>使い勝手と、安全性を考えて、進めていただきたいと思っております。</p>

事務局（川合）	<p>実は、この接続部分に関しましては、今現在メッセウイング側の耐震性能をチェックしております、耐震性能の状況によっては、もう少し接続部を絞らなくてはならないかもしれないといったことがあります。こちら側から、大体的な耐震改修が必要になると、予算的にも大変だと思われるので、それを含めて段階の検討を進めていきたいと思えます。</p> <p>事務局の方から皆様に御教示頂きたいのですが、最初御説明がございましたけれども、資料2の5ページの下のほうでございます。先ほど採光の話がございましたけれども、サイドの光からの採光部の遮光でございますが、実は当方の既存施設には空調がないので、自然の風を入れた場合に、やはりカーテンもしくはブラインドといったものが遮光の主流だと思いますが、そういった部分でカーテンの場合は風で揺らいでしまったり、ブラインドの場合は、強風で破損したりといったことがございますけれども、同じく自然の風を取り入れた場合の遮光に関しまして、どういったものが主流であるとか、有効であるとかいったことを、いろいろな他の体育館をご覧になっている委員の方々を含めまして少し御意見等をいただければと思えます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
日建設計（小谷）	<p>要は、1番大きいガラス面についてでしょうか。</p>
事務局（川合）	<p>そうですね。</p> <p>競技的に、小椋委員のバドミントンでもそうですが、例えばブラインドですと、隙間から明かりが漏れてしまったり、カーテンでも風で光りが漏れてしまったりということで、よく利用者の方から苦情を頂戴することがあります。</p>
日建設計（渡辺）	<p>ブラインドやカーテンが主流ですよ。あるいは、ロールスクリーンがあります。</p>
日建設計（小谷）	<p>ブラインドでも、普通のブラインドではなく完全遮光できるブラインドといったものがございます。</p> <p>ただ面積的に大きいので故障するとかかなり大変なものではありません。なので、ロールスクリーンのほうがいいかなと思えます。</p> <p>縦にガラスを留める方立がありますから、その部分を少し、コの字型にして間にスクリーンがはまり込むような形にします。</p>

相沢委員	どこの部分がガラスですか。その線が入ったものがガラスですか。
日建設計（小谷）	そうです。
相沢委員	その白い部分はガラスではないのですか。
日建設計（小谷）	白い部分は、壁です。
相沢委員	自然の風というのはどこから入ってくるのでしょうか。
日建設計（小谷）	隙間に窓がございまして、この部分から風を入れるといった形でございます。
相沢委員	その窓は開くのでしょうか。
日建設計（小谷）	はい。開きます。
相沢委員	窓を閉めると、光りが入ってこないということですか。
日建設計（小谷）	これはガラスの窓ですので、このままですと窓を閉めますと風は入ってきませんが、光りは入ってきますが、さらにこの上に、ブラインドもしくはロールスクリーンで遮光するといった方法でございます。
相沢委員	選手更衣室とかは、あんな感じのイメージでよろしいのでしょうか。
小椋委員	更衣室は選手の控え室にちゃんとトイレやシャワーがあるとおっしゃっていたのでよかったです。 試合前は緊張でトイレに行きたくなくなってしまうので、アスリートモールのトイレを利用しなくてはいけないのかと少し不安でしたが、控え室にトイレが1番近いところにあるという点では、良いと思います。 しかし、本当ならば、もう1つ別にトイレがあった方が良いかなとは思いますが。バドミントンでは、控え室に男性のコーチが居たりするので、少し気まずいと思う時もありますので、そういった事も

	<p>考えると、別にもう1つトイレが必要かなと思います。そんなに数は多くなくても良いとは思いますが、選手としては安心だと思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>しっかり男女を分けるような形ですね。</p>
小椋委員	<p>はい。そうです。</p>
相沢委員	<p>更衣室の奥にシャワールームがあるといった形でしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。ロッカールームがあって、奥にシャワールームがあるといった形です。</p>
相沢委員	<p>それぞれ2つ控え室で2つが更衣室になるのですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。</p>
相沢委員	<p>4チーム居たら、更衣室を二分化するというのでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。 入れ替わっていただくか、使い方で分けることになると思います。</p>
相沢委員	<p>案外、どこに行っても選手の気持ちが分かってないなという事があります。</p>
日建設計（渡辺）	<p>海外とかの、体育館なんかもご覧になってきていると思いますので、選手に対するホスピタリティに配慮しているという事は、海外ではあるのだろうと少し私は見たのですが、そういった事を御経験でお知りなら、是非選手の立場から見てどうなのかといった御意見を頂けたらなと思います。</p>
相沢委員	<p>それは、聞いたほうが良いですかね。ラグビーも海外はすごいですね。15個バスタブがある所もあります。</p>
小椋委員	<p>あまり良い体育館行ってないのかもしれませんが、日本の設備の方が良いなと思います。 でも、国内の大会でしたら夕方までに試合は終わりますが、国際</p>

	<p>大会となると、22時とか日にちを超えることもあり、いつ終わるかも分からない時もありますので、そういった時に軽食を食べられる場所があればいいなと思いますし、それは海外のどこへ行ってもあたりするので、そういった点では、日本の体育館ではあまりないとは感じます。</p> <p>あとは、この案がガラッと変わってしまうことを言ってしまうと、客席と廊下の間に扉があるような体育館が結構主流ですね。</p>
日建設計 (小谷)	客席の外側に一重に廊下があるという形でしょうか。
小椋委員	はい。
日建設計 (小谷)	例えば、アリーナがあってここにずっと観客席があってこの外側に廊下がぐるっと回っていて、観客の方はここから入ってくるといった意味でしょうか。
小椋委員	そうです。外も外枠を走ったりもできるといった感じです。
日建設計 (小谷)	外周があってここもランニングコースにもなるということでしょうか。
小椋委員	そうです。それと、そこに軽食が置いてあったりするという体育館もありました。
日建設計 (小谷)	少し野球場のようなイメージですね。
小椋委員	そうですね。
日建設計 (小谷)	ドーム球場とかのように、カフェテリアのコーナーがあったりといったイメージですね。
野口委員	食べ物はないですが、客席と廊下の関係でいうと武道館もそういった感じですよ。日本武道館も客席があって外側があったといった感じですよ。
小椋委員	そうですね。
日建設計 (小谷)	今、仮に2階部分は、アリーナとは干渉しない位置に廊下があり

	<p>ます。1階はアリーナの中に観客席が出てくるといった形です。その時に考えておりますのは、1階の観客席は、2階の観客席から繋がるようにして、観客は一旦全員上に上げてしまってから下に降りていくといった形でございます。</p> <p>そして、基本的にはアリーナの中には観客が足を踏み入れないようなつくり方ができないかなと考えております。</p>
相沢委員	<p>中から入って、試合しているところを歩かれるという事は、あまり良い気分ではありませんよね。</p>
小椋委員	<p>そうですね。</p> <p>下からだとしても必ず後ろから入るとか、看板等を立ててその間を歩いていただくということはすごく多いです。</p>
日建設計（小谷）	<p>少なくともアリーナには足を踏み入れないようなつくりにする事は可能だと思います。</p> <p>観客用のカフェテリアのようなものは、どうですかね。ずっとプロスポーツをやっているようなドーム球場を見ていると常設のものがありますが、なかなかそういった大会が日常的に行われないと運営的に厳しいのではないかと思います。</p> <p>選手の方が、モールで売っている軽食を食べるといったケースもあるということですか。</p>
小椋委員	<p>海外ですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。</p>
小椋委員	<p>海外ですとそういった事はあります。</p> <p>たぶん、そういった時にだけ出てくるのだと思いますが、ずっと使われてない時にも出てくるわけではないと思います。</p>
日建設計（渡辺）	<p>それは、選手専用のゾーンの中にあるのですか。</p>
小椋委員	<p>いえ。それはないです。一般の方々もいらっしゃいます。</p>
日建設計（小谷）	<p>それでしたら、可能かなと思います。</p> <p>そういった際の食事の安全性なんかはどうでしょうか。</p>

小椋委員	<p>それは、場所にもよりますね。</p> <p>ヨーロッパなら、例えば自分たちが入るであろう試合がある時間に行って、そこから2時間くらい伸びてしまうことがありますて、何かお腹に入れておこうと思った時に例えばホットドック等が売っていたりするとすごく助かります。</p>
相沢委員	<p>東京体育館ってわかりますか。</p> <p>東京体育館は入ったところに今、ちょっとしたスペースに、コーヒーが飲むことができたり、サンドイッチを食べられるような場所を作ったんですよ。</p>
日建設計（渡辺）	<p>それは、ロビーの一角ですか。</p>
相沢委員	<p>ロビーの一角に入って、サブアリーナには行って右側の所につくったんですが、これは利用者が多いですよ。そこで買って中庭で食べたりといった感じです。</p>
後藤委員	<p>田んぼの真ん中にある施設なので、日常的にそういったものが繁盛するとは思えません。ですが、確かに1日中試合があるですとかといった時に、なにかそういったユーティリティーなものがあるといた事は非常に大事な視点で、例えばアスリートモール辺りに、カフェテリアのような形で入っていただく準備だけでもしていただくといった形でいいかなと思います。</p>
相沢委員	<p>おそらく大会があったりするとよく屋台の人たちがいますが、今であれば出張サービスなんかもできると思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>そういった大会だけ臨機で店舗が出せるといった考え方であればつくることも可能かなと思います。</p> <p>先ほども、軽食・レストランスペースがあると言いましたが、今現在メッセウイングの所に元々レストランがあったのですが、全然使われていなくて、自販機コーナーになっているといった状況でして、少なくともこれだけの施設であればそんなに需要がなかったということでしたが、これだけ大きい施設になって且つその時だけというのであれば十分機能するとは思いますが。インフラ対応だけはしておく必要はあります。</p>
野口委員	<p>それは、運用の問題となってきます。保健所が関わることで調理</p>

<p>木下委員長</p>	<p>方法の問題もありますので、その場で熱を通すものは駄目とかいう事もありますので、興業的に業者と契約して良いものなのかなどの運用の面で研究した方がいいと思いますので、また別途考えさせていただきます。</p> <p>それでは、時間もなくなってきましたので、質疑につきましてはこの辺で終わらせていただきます。</p> <p>また何かお気づきの点がございましたら事務局の方に直接聞いていただけたらと思います。それでは、事項書に移りまして、その他について川合さんよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局（川合）</p>	<p>御手元の事項書のその他でございますが、次回の第2回検討委員会につきましては、メッセウイングの大研修室がございまして、こちらの方で津市屋内総合スポーツ施設シンポジウムと称して開催したいと考えております。</p> <p>具体的な内容につきましては、資料4をご覧ください。</p> <p>内容につきましては、シンポジウム運営を担当しております同じく日建設計よりご説明をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>引き続き説明させていただきます。</p> <p>今回シンポジウムの運営も我々どもで運営させていただきます。</p> <p>A4の1枚に「新たなスポーツの在り方」ということで、3月17日午後14時から16時半までという日程でシンポジウムを開催したいと思っております。</p> <p>内容につきましては、ここに書いてある通り、第1部が基調講演ということでこれからのスポーツ施設に期待すること、あくまでもタイトルは仮でございますので、先生方と相談させていただきながらと思っておりますが、後藤先生にお願いできればと思っております。</p> <p>それから、第2部におきまして屋内スポーツ施設設計概要説明で本日御説明差し上げた内容で一般の方も参加されるということで、改めまして御説明を私どもの方からしたいと思っております。</p> <p>それから、第3部でフリートークと題しておりますが、小椋委員の方から少し経験談のようなことをお話いただければと思っております。</p> <p>それから、第4部ということで本日参加していただいている委員</p>

	<p>の皆様「親しまれるスポーツ施設」という議題で、これも仮のタイトルですが、ディスカッションしていただければと思っております。</p> <p>そして最後に、質疑応答で終わりたいと思います。</p> <p>少し具体的な内容が次のページに進行案として出させていただきます。最初に第1部として基調講演で、これからのスポーツ施設に対すること、進行内容は右側に書かせていただきました。</p> <p>司会を私、小谷が務めさせていただきますが、最初にシンポジウムの開催宣言、それからシンポジウムの開催主旨の説明を事務局側から野呂部長にお願いいたします。</p> <p>その後、基調講演ということで、後藤先生をご紹介いたしますので後藤先生に講演をお願いいたします。</p> <p>それから第2部に移りまして、設計概要説明ということで、ほぼ本日と同じ内容で私どもの渡辺のほうから概要説明をしたいと思っております。</p> <p>それから、第3部について、ご相談させていただきたいのですが、フリートークということでこれはあくまでも仮のタイトルで、例えば「心に残るスポーツ施設」といった話でいろんな大会に出場されてきた小椋委員に印象に残っている事とかあまりスポーツ施設のハード面に限定するのではなく、町の様子だとか、ふれあいといったこと等を含めてお話いただければと思います。それから、もしそれ以外にもということでありましたら、今引退されたということですけれども、今後様々な形でスポーツに関わっていかれるということで、新しい活動の場としての市民のふれあいの場ということでスポーツ施設を考えた時に、そういった事を考えるかといった事もお話いただければと考えております。これは、どういった進行にさせていただきますいただいたらいいのか、私どもから例えばこういった事はどうですかと質問しながら進めていくのか、それとも、じゃあどうぞお願いしますといった形が良いでしょうか。</p> <p>小椋委員 話題を振って頂いたほうが良いです。</p> <p>日建設計（小谷） わかりました。</p> <p>では、こういったような内容で振らせて頂いて、簡単に15分ぐらいですが、お願いしたいと思います。</p> <p>それから第4部はパネルディスカッションということで、「親しまれるスポーツ施設」とはといったタイトルを付けさせていただきました。最初に私の方からそれぞれ委員の皆様の御紹介をさせてい</p>
--	--

ただきまして、1つ目のテーマは、それぞれ今回参加していただいている専門的な立場で「新しいスポーツ施設建設にあたりこれからの時代に求められるスポーツ施設のあり方」といった事をどのように考えられるかといった事を、それぞれの立場で、簡単に1人5分ずつ御意見を御伺いいたしたいと思っております。

その上で、テーマ2ということで、この意見を踏まえながら今回の施設の計画案、今日設計の内容説明を差し上げて、いろいろな御意見をいただきましたが、一般の方々も来られているという事で、合わせて計画に対する御意見ですとか、御質問をしていただければということで、事前に御説明させていただいた内容について御意見を御伺いしたいと思っております。

その意見に対して、渡辺もしくは事務局の野呂部長の方で回答させていただくというようなやりとりで、締めさせていただきたいと思っております。

その後テーマ3の方で、その時出てきた意見でいくつか主要意見をピックアップしてもう少し委員の皆様の意見交換をしていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

こういった流れでよろしいでしょうか。

もし、御意見があまりないですとか、例えばどういったことが良いのかといった事があれば、下の方に仮にこういった内容で議論していただければ良いのではないだろうかといった案を配布させていただきました。サブテーマということで題しますが、今回の津市のスポーツ振興計画で、「スポーツを通して心豊かな活力があるまち『津』を目指して」といったスポーツ振興計画がございますが、そういったことを踏まえながら、例えば「スポーツを通じたまちづくり」これは少し建築的なお話になると思いますが、そういった事であったり、「スポーツを通じた市民のふれあいづくり・人材育成」についてのお話、それからハード面ではなくスポーツ面から考えた「生涯学習・スポーツレクリエーション環境を充実するために求められることはどういったものがあるか」といったように、あまりハードな話ばかりではなく少しソフトな事も含めた話、それから「地域の人材育成とスポーツ施設との関わり」といった事や、全国規模の大会を本格的プロデュースレベルに対応するハード面を目指す上で、「先ほどの国際大会を開催できるような施設になれば良いな」といった御話も頂きましたが、それを目指すならば、どれ程のレベルまで目指すのかといったような事を仮に挙げさせていただきました。

この辺りをもし参考にしていただければ、こういった内容でお話

<p>木下委員長</p>	<p>いただければなと思っております。</p> <p>最後に参加していただいている一般の方々から質疑を請け賜りたいと思っております。質疑応答は約10分程度でこの質疑の内容にて、委員の先生方、それから事務局、うちの渡辺が回答するといった形にしたいと思っております。</p> <p>それらを踏まえて、最終的に、シンポジウム全体を通してまとめということで、できれば木下先生にまとめていただければなと思っております。それで、閉会といった流れで考えております。</p> <p>ここはもう少しこうしてほしいといった御意見がございますか。</p> <p>先ほどのシンポジウムに関連する御説明に対して、何か御意見がございましたら、よろしく願いいたします。</p>
<p>野口委員</p>	<p>市民の方がせっかく来られるのであれば、もっと市民の方からの質疑の時間をとったほうが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>今、質疑応答とまとめで時間が15分程度でございますが、20分くらいに調整させていただきたいと思います。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは他に、事務局からお話はございますか。</p>
<p>事務局（川合）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は、委員会の内容におきまして、事務局で十分に検討いたしまして、設計に反映させていただきたいと思っております。</p> <p>また、委員会としまして開催し、委員の皆様にお集まりいただくには限りがございますので、今後も、当方と日建設計のほうで打ち合わせを定期的に行っていきますので、その資料を定期的に御提供させていただきたいと思います。</p> <p>委員会に限らず、何かご不明の点がございましたら、御意見等含めまして事務局にご連絡いただけますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、最後になりますが、スポーツ文化振興部長の野呂より御挨拶をさせていただきます。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>どうも長時間に渡りまして、多方面から貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>まだ、この設計につきましては基本設計ということで、日々検討</p>

<p>一同</p> <p>事務局（川合）</p>	<p>しておりますが、いろいろな方面の御意見をいただきまして、この施設は本格的なスポーツから、一般市民の日常利用によく利用していただけるような施設を考えていきたいと思っておりますので、今後ともお気づきの点等ございましたら、私どもにご連絡いただきまして、充実した施設の設計に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上、委員会を終了したいと思います。</p>
--------------------------	---